

エービシはせんきょうしでした

エービシのお父さんは、エービシにイエス・キリストを信じるように教えました。エービシの町には、イエスを信じる人はあまりいませんでした。アンモンがエービシのたみのもとに来て、ラモーナイ王に教えたとき、エービシは天のお父さまが自分に、人人と福音を分かち合うように望んでおられることが分かりました。エービシはついに、みんなにイエスについて話すことができました。



前に、ぼくたち かぞくは、でんどうけいかくを立てました。一人一人が、何をするつもりかをきめました。ぼくは、2年生のときの先生にモルモン書をプレゼントすることにしました。先生にモルモン書をわたすと、先生は「ありがとう、アダム。わたし、本を読むのがすきな」と言いました。かぞくででんどうけいかくをたてられて、ほんとうにうれしいです。

アダム・W, 8才 (アメリカがっしゅうこく, ユタ州)



「エービシと王妃」マーレー・D, 6才
(アメリカがっしゅうこく, ワシントンDC)



切って、おって、このチャレンジカードをもち歩きましょう。



エービシ

わたしも せんきょうしに なれます!

- アルマ 19:36 を暗記しましょう。
- 福音について学べるように、友達を初等協会にさそいましょう。
- だれかと福音のあかしを分かち合って、あなたのあかしを強めましょう。
- わたしは自分に_____
_____することをチャレンジします。